

# 神出自然教育園の教科・領域における学習への取組について

## 1. 幼稚園教育とのつながり

幼稚園教育要領では、幼稚園教育の基本理念の一つに「幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心とする。」旨の内容が掲げられています。

また、幼稚園教育の達成に向けて、求められている領域の中に「環境」が明記されており、そこには自然に触れて生活し、その大きさや美しさ、不思議さなどに気づかせることの大切さや自然などの身近な事象に関心を持ち、それらを取り入れて遊ぶことの大切さが表記されています。また、飼育栽培活動を通して、身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりすることの重要性も併記されています。すなわち、子供たちが自然と直接的にふれあって活動することの教育的価値の必要性が説かれています。

本園では、「遊びを通して、学びを深める。」という観点で、学習プログラムを以下の内容で展開しています。

### ① 「自然遊び」の領域にかかわる学習活動

・自然と直接かかわり合うことで、「自然を知る」「命を感じる」ことに視点をおいた活動です。

○草花遊び ○水遊び ○どろ池遊び ○ザリガニつり ○野草の花集め ○生き物見つけ

### ② 「栽培・収穫」の領域にかかわる学習活動

・収穫につながる作物を植え、育てることに視点をおいた活動です。単に、植えて育てるだけでなく、観察学習につながる内容も含んでいます。

○イチゴ ○ジャガイモ ○トマト ○ブドウ ○サツマイモ ○ダイコン

## 2. 小学校教育とのつながり

小学校学習指導要領では、生活科においては自立し生活を豊かにしていく資質・能力の育成を、理科においては自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための資質・能力の育成を目指すとしてされています。それを達成するためには、子供たちが主体的に自然に関わる意図的な観察等の体験活動が重要となります。そこで本園では「本物に触れ、感じ、学ぶ」を柱にした学習プログラムを以下の内容で展開しています。

### ① 生活科・理科にかかわる学習活動参考例

・栽培活動を通して、成長の様子や収穫の喜びを体感させることに視点をおいた活動

○イチゴの観察 ○サツマイモの植えつけ・収穫 ○トマトの観察

・四季を通して成長の様子を観察し、その特徴をとらえる活動

○果樹の観察 ○自然観察

・単元につながる活動

○チョウの観察（3年理科「チョウをそだてよう」）

○豆腐づくり、大豆の植えつけ・収穫（3年国語「すがたをかえる大豆」）

○サツマイモの植えつけ・収穫、リース作り（1年生活科「たのしもう あき」）

○生き物の観察、ザリガニの観察（1年生活科「いきものと なかよし」）

○「野菜の育て方について学習しよう」（出前授業）

（2年生活科「おいしい野さいをそだてよう」）

### ② 社会科にかかわる学習活動参考例

・5年生の農業学習につながる活動

○なわない体験 ○イネの脱穀体験

・6年生の歴史学習（江戸時代の農業）につながる活動

○農具・農機具の学習

### ③ 総合的な学習にかかわる学習活動参考例

・環境教育につながる活動

○「外来種の生き物（カメ）を通して、環境と命について考えよう」（出前授業）

・食農教育につながる活動（栽培活動とつながりを持たせた学習）

○米づくり ○豆腐・きな粉づくり ○ジャムづくり ○おはぎづくり